



練馬区立石神井西中学校

第3学年 学年通信

令和3年4月23日(金)発行

第4号 ～太陽の学年～



## 春が過ぎ、新緑の季節です。

学校が始まり、3週間が経過しました。学校生活もすっかり日常の生活となり、日々の生活におののが励んでいます。季節も春から移ろい、緑が映える新緑の季節となってきました。夏を記録する日もあり、一日の寒暖差も大きいです。体調を崩さないように、時間と心に余裕をもった生活を心掛けましょう。

### 最近のようす

一日のルーティンが定まり、落ち着いた生活を送ることができています。



#### 朝読書

静かに本を読み、落ち着いた一日をスタートしています。



#### 給食

短い時間で準備・配膳・盛り付けを行っています。



#### 昼休み

元気に遊び、リフレッシュしています。

### 今後の予定

日付	内容	日付	内容
4/26(月)	通常6時間 生徒朝礼 ①学	5/3(月)	憲法記念日
4/27(火)	通常6時間	5/4(火)	みどりの日
4/28(水)	通常5時間 2年生保護者会 ⑤道	5/5(水)	こどもの日
4/29(木)	昭和の日	5/6(木)	通常6時間 ⑤⑥セーフティ教室
4/30(金)	通常6時間 1年生保護者会 ⑥総	5/7(金)	通常6時間 中央委員会 腎臓病検診① ⑥総
5/1(土)	休業日 開校記念日	5/8(土)	休業日 開校記念日

<コメント欄>

## 進路コーナー

### 自分の進路選択を選びやすくしていこう。その2

推薦や併願優遇の制度を利用するときによく出てくる記述が「加点項目」。

内申や出欠席の数字の他に内申にプラスされる項目です。私立高校独自に出てくる記述ですので、私立志望のある生徒は確認してみましょう。学校によって項目はさまざまですが、一番多く該当するのは「資格」です。特に英検、漢検、数検の3つは多くの学校で加点項目として採用されています。注意しなくてはならないのは、前にもお伝えした通り入試に用いたい時は事前の相談が必要なケースがほとんどです。計画を立てて11月末までには結果が出るようにしておくと思えます。準2級は加点ポイントがアップする学校もあります。積極的にチャレンジしていきましょう。

資格以外に加点として採用されているのは、3年間皆勤（欠席・遅刻・早退なし、出席停止をのぞく）や都大会出場などです。加点項目は入試相談の他に各高校の個別相談会でも確認されることがあります。資格証や大会出場時のプログラムのコピーをとっておきましょう。逆に欠席、遅刻が多いと制度が活用できなくなります。1,2年時の欠席、遅刻をチェックする高校もあるのでしっかり確認してください。

## 作文紹介

年度始めに書いてもらった作文をクラスごとに紹介していきます。今回はC組を紹介します。

### 「三年生になって」C組男子

一年生の時、まだ程遠いと思っていた最高学年に、ぼくはなりました。勉強がメインとなる一年間、最後の中学生、そして最後の義務教育期間となる一年間を、存分に楽しむのが今年度の目標です。同時に、石神井西中の最高学年として、下級生の見本となる姿を見せたいです。

さて、二年前にさかのぼると、ぼくは一年生です。そのころ、ぼくたちの見本となっていたのは、今の高一、高二の人達です。自分たちで物事を決め、学校内の中心となっていた姿は今でも覚えています。ぼくはその頃、石西の伝統というものをあまり理解しておらず、なんでこんなきびきび動いているんだと思っていました。しかし、その自分たちで物事を決め、校内の中心となることが石西の伝統だったのです。そしてついに今年ぼくたちがその中心となる年が来ました。全力で楽しみ、全力で物事に励みたいと思いました。

最後になりますが、今年はコロナの影響を受けてのスタートを切りました。その中で今年は昨年度できなかった行事がたくさんあります。さらには受験まであります。最高の一年間にするために、どちらも全力で励みたいです。

### 「一年間の過ごし方」C組女子

私の今年の目標は、時間を大切にすることです。去年は暇なとき、テレビやスマホを見てしまい、休日もあまり有効的に使えていませんでした。しかし今年は受験生なので、そのような時間を減らしていき、少しでも机に向かえるようにしたいです。

私は四月になって部活内での呼び方が二女（二年女子）から三女になって三年生になったんだなと実感しました。今までは全然意識をしていなかったけど、これからはもう三年生なんだという自覚をもちたいです。三年生は中学校生活の最後の年でもあるので、行事などではたくさん思い出を作っていきたいです。また勉強面では部活が終わって勉強に集中できると思うので、テストの点数をもっと上げられるようにがんばりたいです。学校の勉強と受験勉強を両立して効率よく勉強できるようにしたいです。そのためにも、行きたいと思える高校を見つけ、その目標に向かって頑張り、来年嬉しい気持ちで卒業できるようにしたいです。